

限界超えの練習結実

山

リオ五輪
シンクロ監督

井村さんが講演

岡

リオデジャネイロ五輪シンクロナイズドスイミング日本代表監督として2種目で銅メダルに導いた井村雅代さんが8日、岡山市内で講演し、表彰台から遠ざかっていた低迷期を抜け出し、お家芸復活を果たすまでの道のりを語った。

日本代表はデュエツトで2大会ぶり、チームで3大会ぶりにメダルを獲得。井村さんは市民ら約220人を前に「メダルを取るには自分の限界を超えなければならぬ。『常に無理をしなさい』と厳しい練習を課した」と振り返った。

リオ五輪について「食事や衛生面に問題はあったが、同じ条件で金メダルを取る選手は取る。文句を言わず現実を認め、普段と同じ生活リズムを保つよう選手に言い聞かせた」と強調。五輪で着用した水着を巡る秘話



リオ五輪について話す井村さん

を明かし「水着の飾りは選手の母親に頼んで縫い付けてもらった。支えてきた人たちの思いを酌んで演技してほしかった」と話した。

県内の企業や司法書士らでつくる一般社団法人・サポートヒルズ（岡山市北区弓之町）が主催した。

（山本未来王）